

人間科学研究科教授会議事要旨

日	時	令和1年10月24日(木)	13:42~14:53			
場	所	ユメヌホール				
出	席	者	川端研究科長 青野、足立、稲場、白井、エツロット、遠藤、老松、大谷、岡田、岡部、 小野田、金澤、河森、吉川、栗本、クロイドン、小林、斉藤、佐々木、 佐藤(功)、佐藤(眞)、澤村、篠原、志水、白川、管生、杉田、園山、 高田、高谷、千葉、辻、中井、中澤、中野、中道、西森、入戸野、野坂、 野尻、野村、檜垣、平井、福岡、藤岡、藤川、三浦、三好、牟田、村上、 モハーチ、森川、森田(邦)、安元、八十島、山中、山本(ベ)、綿村 (計59名)			
欠	席	者	藤目、森田(敦)、木村(涼) (計3名)			
海	外	渡	航	者	等	渥美、権藤、ノース、山田 (計4名)

[議事に先立ち、前回(9月19日)の議事要旨を確認した。]

(協議事項)

1. 研究科委員会の議決事項について

本日開催の研究科委員会での議決事項について説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 基礎人間科学講座教授の選考について

前回から継続審議の同講座教授候補者について、投票の結果、教授採用を承認した。
なお、昇任年月日は令和元年12月1日を予定している旨、補足説明があった。

3. 臨床教育学講座教授の選考について

前回から継続審議の同講座教授候補者について、投票の結果、教授採用を承認した。
なお、昇任年月日は令和元年11月16日を予定している旨、補足説明があった。

4. 公認心理師プログラム運営室特任講師の選考について

資料3に基づき、特任講師を採用したい旨、申し出があったこと、未来共生博士課程プログラムの承継に伴う特任教員の雇用について審議した平成31年3月7日教授会の事例にならい、1回の審議で説明、投票まで行うことについて、説明があった。

続いて、候補者の選考経緯、経歴、研究業績等について説明があり、投票の結果、特任講師採用を承認した。

なお、採用年月日は令和2年4月1日を予定している旨、補足説明があった。

5. 総長・理事等による部局運営方針等ヒアリングについて

総長・理事等による部局運営方針等ヒアリングについて、資料4のとおり必要書類を作成し、本部への提出期限が教授会前であったため、運営会議に附議し、承認を得て提出した旨説明があり、審議の結果、これを事後承認した。

6. 教務委員会規程について

資料5に基づき、教務委員会申し合わせを廃止し、教務委員会規程を制定することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

7. 研究科長選挙管理委員会及び過半数代表者選出のための教職員選出選挙管理委員会について

資料6に基づき、各学系から候補者の推薦があった旨、説明があり、審議の結果、委員の就任を承認した。

また、「研究科長選挙申し合わせ」第6条第4項に基づき、幹事を決定したことについて、補足説明があった。

なお、過半数代表者選出のための教職員選挙管理委員会については、「労働者の過半数代表者を選出するための教職員選出に関する申し合わせ」第3条に基づき、事務系職員から選ばれた1名を含めた5名であること、選挙は研究科長候補者選出選挙の終了後、引き続いて行う予定であることについて、補足説明があった。

8. 運営会議、研究科委員会、研究科教授会、学部教授会の開催日程（案）について

資料7に基づき、2020年度の各種会議開催日程（案）について、基本的に教授会を月1回、第4木曜日とし、教授会と同じ週と2週前の水曜日に運営会議を行うこと、大規模な学会等の日程は避けて予定を作成したことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

9. その他

なし。

（報告事項）

1. サバティカル期間の変更について

来年度のサバティカル若手枠取得者から、やむを得ない事情により始期を1年繰り下げたい旨、変更の申し出があったこと、運営会議において、これを承認したことについて、報告があった。

なお、2021年度の若手枠（研究科内1件）に影響を及ぼすか否かについては、あらためて検討することとし、まずは本変更申請について承認することとした旨、併せて報告があった。

2. 教員出版支援制度の選考結果について

教員出版支援制度の若手部門について、1件が採択された旨、報告があった。

3. 大阪大学賞の受賞について

教育貢献部門1件、若手教員部門1件の受賞が決定した旨、報告があった。

4. 東館の外壁タイルの補修について

資料8に基づき、施設老朽化対策の経費にて東館外壁タイル補修工事を行う予定であること、日程については若干の変更があること、改めてお知らせすることについて説明があった。

また、期間中は断続的に作業音が発生するため、ご理解、ご協力賜りたい旨、依頼があった。

5. 各種委員会報告

各委員等から順番に報告

[学内関係]

- (1). 国際交流委員会 (9. 24)
- (2). 吹田地区事業場安全衛生委員会 (10. 4)
- (3). 学生生活委員会 (10. 9)
- (4). 人文社会学系戦略会議 (10. 9)

「国立大学改革方針」への対応について意見照会があり、部局ごとの意見を取りまとめ、戦略会議として総長へ具申したことについて報告があった。

- (5). 教育課程委員会 (10. 11)
- (6). 吹田地区箕面地区合同部局長会議 (10. 16)
- (7). 補導会議 (10. 16)
- (8). 教育研究評議会 (10. 16)
- (9). 部局長会議 (10. 16)

通常資料に加え机上配布を行った、資料9-1「STOP!研究費不正!」を用いて、研究費不正使用防止に関する講習を行った。

また、箕面市ふるさと納税制度を活用した募金活動、研究開発エコシステムの実装化に向けた取り組みについて、報告があった。

- (10). 吹田地区事務長会 (10. 8)
- (11). 事務協議会 (10. 18)

[部内関係]

- (1). 入学試験委員会 (9. 30)
- (2). 教務委員会 (10. 1、10. 17)
- (3). 第3年次編入学試験運営委員会 (10. 3)
- (4). 防災対策委員会 (10. 3)
- (5). 安全衛生委員会 (10. 3)

11月6日(水)に開催する安全衛生講習会、11月7日(木)に実施する防災訓練について、案内があった。

- (6). 運営会議 (10. 9、10. 23)
- (7). 教育国際化推進委員会 (10. 15)
- (8). 各室報告

○ 未来共創センター

オムニサイト協定の新規締結3件について、報告があった。

オムニサイト協定については、共創センターにおいて協定を結ぶ際のガイドラインを作成することとした旨、併せて報告があった。

また資料10に基づき、災害ボランティアラボ(仮称)の新設について、報告があった。

○ 教育改革推進室

子育て支援奨励金の受給者12名が決定し、11月中に支給予定である旨説明があり、奨励金の創設に尽力された男女協働推進ワーキンググループ、及び原資となる未来基金への

ご協力をいただいた教員への謝辞と、更なるご支援の依頼があった。

○ 図書室

資料11に基づき、人科における実査説明会の実施案内があった。

実査について、かなりの負担を伴うことから作業を外注してほしいとの要望があり、作業量、費用等を図書室にて見積もることとなった。

○ 評価資料室

現在依頼している「教員活動報告シート」及び一部教員に依頼している「研究アンケート」について、ご協力をお願いする旨、依頼があった。

6. 奨学寄附金の受入れについて

資料12に基づき、奨学寄附金の受け入れ1件について報告があった。

7. 海外渡航について

資料13に基づき、海外渡航の届出10件について報告があった。

8. その他

(1) 「公的研究費の取扱いに関する理解度チェック」の実施について

(2) 情報セキュリティ研修の実施について

資料14に基づき、いずれもマイハンダイ、トップページのバナーから実施可能であること、必ず実施いただきたいことについて、説明があった。

9月19日（木）の教授会後に「科学研究費補助金等に関わる政策や支援についての動向」と題し開催したFD研修について、盛況に終わった旨報告があり、参加、協力へのお礼を述べられた。

以上